

平成25年度 地域密着型研究課題

No.	課題名	研究概要	研究期間
1	レジオネラ属菌の汚染状況把握・迅速検査法及び殺菌除去方法に関する研究	過去10年間の県内入浴施設におけるレジオネラ属菌汚染実態調査のデータ解析により生息特性を明らかにし、併せて利用可能な迅速検査法を確立します。また、アルカリ泉等中のレジオネラ属菌に対する次亜塩素酸ナトリウム及びそれ以外の薬剤の殺菌効果を明らかにし、入浴施設の維持管理指導に寄与します。	H23～26
2	食品を含む環境からのノロウイルス高感度検出法の確立	現行の検査法を操作過程で区切り、それぞれの過程において検出感度の高い方法に改善することにより、食品等環境からのノロウイルス高感度検出法を確立します。また、この手法を用いて実際に食品・拭き取り等の検査を積極的に行うことにより、食中毒防止に寄与します。	H25～27
3	腸管出血性大腸菌O26を対象とした迅速・簡便な分子疫学解析法の検討	腸管出血性大腸菌O26による感染症や食中毒発生時に、その感染源・感染経路を解明するために行われる分子疫学解析検査について、その解析能力、迅速性、簡便性等の向上を目的とした検討を行い、より良い検査体制を構築することにより、健康被害の拡大を防止します。	H25～27
4	岐阜県内の公共用水域における環境汚染物質の特定と現状把握に関する研究	公共用水域への流出油のうち、少量のもの、特に薄い油膜については油種判別が困難です。本研究では、迅速な行政対応を可能とするため、少量の油の分析法を確立し、河川における汚染状況の把握・対処法について検討します。	H23～25
5	地下水質の地域特性に関する研究	県内各地の地下水及び河川水の水質調査を行い、地下水汚染の分布状況、地盤沈下対策地域における地下水の流动状況等を解析し、各地域における地下水質の地域特性を明らかにします。	H25～27
6	岐阜県における大気汚染の特徴と高濃度メカニズムの解明に関する研究	環境基準を達成していない光化学オキシダント・浮遊粒子状物質・微小粒子状物質や、揮発性有機化合物について、岐阜県特有の特徴と高濃度メカニズムを明らかにし、これらの大気汚染物質の県内への沈着量についても把握します。また、事故等を原因とした高濃度大気汚染についても、迅速な対応ができるよう測定方法を確立し、マニュアルを整備します。	H25～27
8	リサイクル認定製品のデータベース化に関する調査研究	既存のリサイクル認定製品の傾向やその溶出挙動等の把握、さらには、新品の材料を用いた市販品の分析を行って比較評価することにより、リサイクル認定製品の傾向や品目別の溶出特性等を解析・考察します。	H25～27
9	LC/MS/MSを活用したアレルギー物質検査法の開発	子供を中心に増加傾向にある食品アレルギー事例への検査体制を整えるため、高感度質量分析器LC/MS/MSおよび岐阜県消費者行政活性化基金で導入した専用の解析ソフトを活用し、特定原材料(卵、牛乳、小麦、そば、落花生等)に含まれるアレルギー物質を高精度に定量分析する手法を開発します。	H25～27
10	バイケイソウ、コバイケイソウの毒成分に関する研究	バイケイソウ、コバイケイソウによる中毒事例に備え、形態観察による鑑定技術とLC-MS/MSによる原因化学物質の特定及び定量を行う手法を確立します。	H25～27